

領域プロジェクト名称	経済実験を用いたサービス構造分析
担当教員	西野成昭
プロジェクトの狙い	サービスは一般に通常の製品と異なり、無形性、異質性、同時性、消滅性などの性質を有していると言われる。現在、サービス科学/工学等の分野で多くの研究がなされているが、そのような性質のために、サービスの設計は物理的実体のある通常のプロダクトとは異なる考え方が必要となっている。本プロジェクトでは、経済実験をベースとして、サービスを仮想的な実験室での被験者実験として実験する方法を用いて、サービス構造を人間の行動という側面から理解し、サービス設計へと繋がる知見を得ることを目的とする。
プロジェクトの内容	<p>先行研究の成果や実サービスを調査し、幾つかの抽象的なタイプに分類された意思決定モデルを構築するところから始める。経済モデルとして捉えるために、具体的には、サービスを提供時における一種のルールとして表現し、経済実験でそのルールと被験者の振る舞いについての関係性を見る。これらの考え方をもとにした一連の経済実験を計画し実施する。得られた実験結果を分析し、サービスの設計に資する基本的性質等を明らかにすることが本プロジェクトでの最終的な目標である。</p> <p>また、本プロジェクトは JST RISTEX「問題解決型サービス科学研究開発プログラム」の研究プロジェクトの一部として進める。</p>
プロジェクト開催場所	工学部 3 号館
プロジェクト計画	<p>4 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文献調査 ・ サービス科学/工学に関する基礎的学習 ・ 手法等に関する基礎知識の獲得 <p>5 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済実験の計画、実施 <p>6 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実験結果の分析 ・ 発表及びレポート提出
ウェブサイト	